

北海道ＪＡバンク食農教育応援事業の取り組み

「北海道ＪＡバンク食農教育応援事業」は、ＪＡバンク北海道が地域貢献活動の一環として取り組んでいるもので、道内の子どもたちに対して農業や食の大切さをより深く知ってもらうための活動として展開しており、平成30年度で11年目となりました。

この取り組みは、ＪＡから小学校等への農業や食に関する教材本の贈呈を通じた学習をステップに、農業体験学習や牧場の見学など実践型の教育活動を行っているもので、小学生を中心に食農・環境保全・金融経済にかかる教育活動を道内各地区で実施しております。

農業や食に対する関心が高まるなか、今後とも道内各地区で地域の皆様の農業に対する理解がより深まるよう活動して参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いします。



上：トラクターに乗る稚内市立潮見が丘小学校の児童（ＪＡわっかない）

下：さつまいもの収穫体験の様子（ＪＡこしみず）



稚内市立東小学校の牧場見学授業の様子（ＪＡわっかない）

教材本贈呈事業

全道の小学校へ教材本を贈呈

教材本贈呈事業では、小学校の授業等で活用いただける、食農教育・環境教育などをテーマとした補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を作成し、全道の小学校・特別支援学校に贈呈しております。

今年度は、北海道教育委員会をはじめ各市町村教育委員および各学校のご理解・ご協力のもと、全道1,059校の小学校5年生（約41,300人）ならびに20校の特別支援学校へ、最寄りのJAを通じて贈呈を行っております。



北海道教育委員会への贈呈式の様子

小学校への贈呈に先だって行われた北海道教育委員会への贈呈式では、JA北海道信連の佐藤会長より北海道教育委員会の柴田教育長に対し協力依頼および、教材本の贈呈が行われました。

柴田教育長からは、「農業は、北海道にとって基幹産業であるばかりではなく、地域にとって無くてはならない身近な産業でもある。北海道で、このような教材本は非常に有用であり、積極的に活用させていただく。」とのお言葉をいただきました。



教材本を贈呈するJA北海道信連の佐藤会長㊦と北海道教育委員会の柴田教育長㊧

小学校への教材本贈呈の様子 ～JA函館市亀田～

JA函館市亀田では、平成30年4月20日に函館市立中の沢小学校で教材本の贈呈式を行い、柴谷組合長から児童へ、教材本が手渡されました。

贈呈式では、児童から農業に関する質問が次々とあげられ、柴谷組合長は質問の量に驚きながらも笑顔で答えていました。

中の沢小学校で
児童に囲まれる
柴谷組合長（中央）



「旬食カレッジ in 洞爺湖 収穫・料理教室」の開催

「旬食（しゅんしょく）カレッジ」は、親子を対象とした「料理教室」「食の講演」等を通じ、「学ぶ・作る・食べる」を経験していただき、地元食材のファンになってもらうための取り組みです。

3年目となる今回は、8月に、JAバンクのTVCMでもおなじみの洞爺湖町で開催いたしました。JAとうや湖との共催であった今回は、同JAの正組合員等の協力を受けながら、「収穫体験」「料理教室」「講演」を行い、参加した札幌市の親子16組32名にも好評いただきました。

旬食カレッジの様子



菊池農園の菊池さん（奥）より、じゃがいもの収穫の仕方等について説明がありました。



菊池さんに教わった通りにじゃがいも「とうや」を収穫する参加者。



収穫した「とうや」やJAとうや湖産の野菜・豚肉を使って、親子で協力して調理しました。



調理後は全員でおいしくいただきました。



JAとうや湖によるクリーン農業等の講演に聞き入る参加者。



最後に、JAとうや湖の雪蔵を見学しました。

各地での食農教育応援事業 ～平成 29 年度取り組み～

平成 29 年度は、全道各地区で計 100 件の食農教育応援事業が実施されました。活動内容は農業体験学習（田植え・稲刈り・野菜づくり等）や学校給食への地元食材の提供、牛舎施設見学と搾乳体験、小学校への出前授業など多岐にわたっておりますが、その中の一部をご紹介します。

アスパラの収穫体験と選果場見学 ～ＪＡこしみず～

ＪＡこしみずでは、毎年、小清水町立小清水小学校のアスパラの収穫体験と選果場見学を支援し、普段口になっている農産物が食卓に並ぶまでを学んでもらっています。

収穫体験では、アスパラのサイズを自分で測り、出荷条件を満たしているかを確認してから収穫を行いました。採れたてのアスパラを試食した児童は、「とっても甘い」と地元野菜の美味しさを改めて感じていました。

選果場見学では、働いている人の多さに驚いていましたが、様々な人の手で安心安全な“小清水野菜”が届けられていることを知ってもらうことができました。



㊤ 専用鎌を使っでの収穫体験を行う児童

㊦ アスパラの選果の様子を興味深く見つめる児童



訪問授業 ～ＪＡわっかない～

ＪＡわっかないでは、稚内市の基幹産業である酪農をより身近に感じてもらうため、平成 29 年 11 月に稚内市立潮見が丘小学校を訪問し、稚内牛乳を使用したバター作り体験を実施しました。

バター作りは、ペットボトルに牛乳を入れて 15 分間振り続ける簡単な作り方ですが、徐々にバターになっていく牛乳の変化に、参加した 77 名の児童と 5 名の先生は驚いた様子でした。

完成したバターは食パンにつけて食べ、脱脂乳（牛乳から脂肪分を取り除いた部分）もおいしく飲んでもらうことができました。



和気あいあいとした雰囲気でもバターを振る児童と

ＪＡわっかない職員

ＪＡバンク北海道では、今後も引き続き、全道各地で食農教育応援事業に取り組んで参ります。

ＪＡバンクからのお知らせ

ＪＡバンク北海道では、各種媒体で、食や農に関する情報を発信しています。お得な情報から“おいしい”情報まで盛りだくさんですので、是非ご覧ください。

【ＴＶ番組】 あぐり王国北海道NEXT ～毎週土曜日午後５：００から ＨＢＣ北海道放送にて放送中～



TEAM NACS（チームナックス）のリーダー森崎博之さんと、森結有花ＨＢＣアナウンサーが、北海道各地で真剣に農業に向き合う生産者たちの知恵と工夫を紹介し、「食の大切さ」を伝える番組。

その土地で「獲れたて」の食材を使った料理のレシピも多数紹介しています！

【アプリ】 ＪＡ²MP（ジェイエイジャンプ）



ＪＡグループ北海道のスマホアプリ「ＪＡ²MP」では道内の食と農に関わるお得な情報を随時配信中です。道内各ＪＡの新商品の紹介や直売所の情報、回って楽しいチェックインスポットまで、見て使って役に立つアプリになっています。右記ＱＲコードからダウンロード可能です。



【ホームページ】 ＪＡバンク北海道ホームページほか

ＪＡバンクが行う「食育」等に関する情報はホームページでも発信しています。詳細は下記アドレスからご覧ください。

- ・ ＪＡグループ北海道ホームページ (<http://ja-dosanko.jp/>)
- ・ ＪＡバンク北海道ホームページ (<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>)
- ・ ＪＡバンクアグリ・エコサポート基金ホームページ (<http://www.jabank-aes.or.jp>)

発行日：平成 30 年 10 月 18 日

発行者：ＪＡ北海道信連